

## 暴力について考える 2

○目標となる資質・能力

思いやり・他者理解

○指導のねらい

暴力には「道具的暴力」もあり、人の心を苦しめる卑劣な行為であることを知り、暴力をふるわない態度や、被害生徒を思いやる心を育む

○準備するもの

プリント1枚×生徒数

○教育課程、実施時期

特別活動

○留意点など

特定の生徒を想起させないように、実施時期、実施方法を留意する

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 プリントを読み「道具的暴力」について知る	・イメージしやすいようにゆっくり音読する
	道具的暴力について考えよう	
展開 35分	2 次の5点について考える ①Aの言動は暴力か？ ②衝動的暴力とはどこが違うか？ ③BはAの言動をどのように感じていると思うか？ また、これからどう行動すると思うか？ ④Aのとった行動やA自身のことをどう思うか？ ⑤Aの仲間たちは、この場面に居合わせて何を感じていると思うか？ 3 学習性無力感について知り、いじめを受けている子の気持ちを考える	・直接的には暴力は振るっていない点に留意させる ・Aのことを怖がるように仕向けていることに気づかせる  ・セリグマンの実験を説明する ・いじめを受けている子の気持ちを理解し、どうすれば力になれるかを考えさせる
まとめ 10分	4 感想を発表し合う	・用紙に記入し提出させてもよい

## 参考

### ○「次の5点について考える」について

ワークシートを使って順番に書かせたり、順番に班で話し合わせたりする方法もあるが、事例資料のみを掲載したプリントを使って教師から1つずつ発問していく方法も考えられる。

### ○「学習性無力感」について

学習性無力感の説明としてセリグマンの実験に触れるが、「ある自動販売機にお金を入れてジュースが出てこなかったとすると、みんなならあと何回お金を入れてみる？」などと実生活に即した例で補足したい。ただ、あくまで、いじめの被害を受けた生徒が立ち向かったり相談できなかつたりする場合があるのは、その子が弱いからではないことに気づかせることが目的であるので、深入りはしないようにする。

#### <事例資料>

AさんはBさんを教室の隅に呼びました。その時、Aさんの後ろにはにやにや笑いながらBさんを見ているAさんの友だちが数人いました。

「雑巾当番、今週もBやんな。」「え、先週も雑巾やったんやで、今度はAやろ。」「まあ、ええやないか。2週間続けてやったら慣れとるやろ。」と言いながら手に持っていた鉛筆を真っ二つにへし折り、床に投げつけました。Bさんはへし折られた鉛筆を見つめ、黙っていました。

翌日、教室掃除を先生が見回りにきました。先生が「誰や、雑巾の当番は？」と聞きました。Bさんは口を開こうとしましたが、すかさずAさんが「Bです。」と答え、先生にはわからないように、Bさんの顔をギュッとにらみつけました。仕方なく今日も雑巾で床を拭きました。

掃除が終わったあと、Aさんが「Bは拭くのがうまいなあ。明日も頼むで。」と大きな声で言いました。それを聞いたAさんの友だちは「Bはほんまにうまいなあ。床磨きの天才や。」と、Aさんと一緒になって言いました。Aさんは「余計なこと言うなよ。」とBさんの耳元で低い声で言うと、Aさんの友だちと教室を出て行きました。Bさんは誰かに相談しようと、立ち上がりかけましたが、床に転がった鉛筆やAさんの声を思い出して、もう一度力なく椅子に座り直しました。

## 資料

### ○セリグマン（心理学者）の実験

- ①AとBの2匹の犬に電気ショックを与える
- ②Aの頭の横には板があり、板を押すと電気ショックは止められるが、Bは止められない
- ③何度か電気ショックを与えると、Aは試行錯誤の上、板を押して電気ショックを止めることを学習するが、Bは電気ショックから逃れようとする行動をしなくなりただ耐えるだけになった（何をしても無駄であるということを経験した＝「学習性無力感」）
- ④回避訓練箱という部屋（電気ショックが来る前にランプが点灯し、隣の部屋に行けば回避できる）にそれぞれの学習をしたAとBを移し入れ、電気ショックを与える
- ⑤Aはしばらく後にはランプの合図で隣の部屋に移動するようになるが、Bは回避のための方法を全く探ろうとせず、ずっと座り込んで電気ショックを受け続けるようになった

参考文献 「暴力防止プログラム」

## 暴力について考えてみよう

年 組 番 名前：
-----------

- 1 Aさんの言動は暴力でしょうか？
- 2 衝動的暴力とはどこが違いますか？
- 3 Bさんは、Aさんの言動をどのように感じていると思いますか？ また、Bさんが今後どう行動すると思いますか？
- 4 Aさんや、Aさんのとった行動のことをあなたはどのように思いますか？
- 5 Aさんの仲間たちは、この場面に居合わせて何を感じていると思いますか？
- 6 感想を書きましょう。

## 「ある教室での出来事」

AさんはBさんを教室の隅に呼びました。その時、Aさんの後ろにはにやにや笑いながらBさんを見ているAさんの友だちが数人いました。

「雑巾当番、今週もBやんな。」「え、先週も雑巾やったんやで、今度はAやろ。」「まあ、ええやないか。2週間続けてやったら慣れとるやろ。」と言いながら手に持っていた鉛筆を真っ二つにへし折り、床に投げつけました。Bさんはへし折られた鉛筆を見つめ、黙っていました。

翌日、教室掃除を先生が見回りにきました。先生が「誰や、雑巾の当番は？」と聞きました。Bさんは口を開こうとしましたが、すかさずAさんが「Bです。」と答え、先生にはわからないように、Bさんの顔をギュッとにらみつけました。仕方なく今日も雑巾で床を拭きました。

掃除が終わったあと、Aさんが「Bは拭くのがうまいなあ。明日も頼むで。」と大きな声で言いました。それを聞いたAさんの友だちは「Bはほんまにうまいなあ。床磨きの天才や。」と、Aさんと一緒になって言いました。Aさんは「余計なこと言うなよ。」とBさんの耳元で低い声で言うと、Aさんの友だちと教室を出て行きました。Bさんは誰かに相談しようと、立ち上がりかけましたが、床に転がった鉛筆やAさんの声を思い出して、もう一度力なく椅子に座り直しました。